

名古屋アイリスロータリークラブ

RID2760 THE ROTARY CLUB OB NAGOYA IRIS

～ 世界へのプレゼントになろう Be a gift to the world ～

2015-16 年度国際ロータリー会長 K.R. “ラビ” ラビンドラン

例会日:毎週水曜日 13:00～14:00

例会場:ANA クラウンプラザ グランコートホテル名古屋

創立:2013 年 6 月 5 日

会長:安井 忠 「楽しく・深く理解するアイリス」



■ 斉唱 それでこそロータリー

■ 司会 須賀 祐介 会員

■ 出席者報告 出席者数 26 名 / 会員数 37 名
出席率 70.27%

前々回(第 127 回)修正出席率は 86.48%(32/37)

■ ビジター・ゲスト

資生堂ジャパン 名古屋支店

美容部長 宮本 のり子 様

中部支社 企画部長 小川 幸男様

営業部 鬼頭 良次 様

■ ニコボックス報告

安井 忠 会長

本日は晴天なり

そして資生堂ジャパン宮本様より明るく美しくなる卓話を頂戴いたします、大変楽しみです。

櫻井 孝充 会長エレクト

本日は資生堂ジャパン美容部長 宮本のり子様、中部支社 企画部長 小川幸男様、営業部 東日本統括部

課長 鬼頭 良次様 ようこそ名古屋アイリス RC に
お越しくださり有難うございます。先日 PETS に行っ
てまいりました。16:30 までみっちりでした。

因みに来期は RC の 100 年記念の年になります。

PETS で賜りました赤いネクタイとピンバッジはホワイ
トボードに掛けてありますのでどうかご覧ください。

■ 幹事報告

・次週 30 日の 6RC 合同例会について

■ 会長挨拶

3 月 18 日(金)中日新聞の一面に、『名古屋に小児がん基金』が今年の 5 月に発足する見通し、との記事
が出ました。

私達アイリスロータリークラブが、昨年、社会奉仕
の一環として、名古屋大学医学部附属病院・小児科
病棟に対し、子供達に玩具や本などを寄付しました
所、同大学院医学研究科小児科の小島勢二教授より、
例会において卓話をいただき、小児がん基金を一般
社団法人として、設立したいとお話しも伺いまし
た。

そして今年は、私達アイリスロータリークラブとし
て、この基金協力を得るためのパンフレット製作に
協力していただきたいとお話しが有り、その印刷
費を負担致します。

このように、当クラブもささやかながら関わらせて
いただいている小児がん基金が、ようやく 5 月に発
足する見通しとなったのです。

小島教授が、基金づくりを思い立ったのは、平成 27
年 1 月に 2 歳で亡くなった、柳田優芽ちゃんが、き
っかけであります。

優芽ちゃんは、骨髄移植と臍帯血移植を受けたもの
の再発し白血病細胞を殺す遺伝子を患者本人のリン
パ球に組み込み、増殖させて体内に戻す療法を名大
医学部小児科で研究を進め、臨床応用の目前まで来
ていましたが間に合わず、既に米国の病院での治療
を目指しました。

しかし、提示された金額は「前金で一億五千万円」名大なら50万で出来るのにと呆然としたそうです。その後、善意の輪が広がり、一億一千四百万円の募金が集まりましたが、米国の病院の事情や優芽ちゃんの病状悪化により、願いは叶いませんでした。そこで名大では、さまざまな研究を充実させ臨床応用を早める事が基金の目的として、小島教授は大学なら低コストで出来る先端医療が、製薬企業だと百倍以上になってしまうと指摘、小児がん拠点病院である大学病院として、研究を目の前の患者さんに生かせる仕組みが必要と痛感し、産学協同を進める国の方針とは異なるかもしれないが、市民の協力を得て進めたいと考え、今回の名古屋小児がん基金を発足させる事になりました。

昨年の6月に名古屋アイリスロータリークラブに小島教授がお見えになり、何とかこの基金を立ち上げたいと私達の前で、お話しただいてから、1年余経った5月に発足の運びとなりました。

『名古屋小児がん基金』の第一歩が、このアイリスであった事に私達は、誇りを持ちたいと思っております。



■卓話

資生堂ジャパン 名古屋支店

美容部長 宮本 のり子 様

「エイジングケア美容と健康 ～血液循環～」

- ・血管力について
- ・血液循環について
- ・資生堂流 血液循環
- ・頭皮マッサージについて

・資生堂商品案内

について卓話を頂き、最後には会員全員に資生堂商品のプレゼントまで頂きました。



以上